

東北森林管理局

## 山形森林管理署 もがみ支署通信

【令和5年度最上地域森林・林業・木材産業推進セミナーが開催されました。】

唐澤氏による講演の一幕。



秋田氏による講演の一幕。



講演に聞き入る参加者の皆様。



【3月7日（木）】新庄市民プラザを会場に令和5年度最上地域森林・林業木材産業推進セミナーが開催されました。

このセミナーは最上地域の林業関係者を対象に、地域の森林資源を構成する「広葉樹資源」に焦点をあて、広葉樹の価値や効果的な活用方法について理解を深めることを目的とし開催され、今回は47名の関係者が参加しました。

講師としてお招きした東北森林管理局 森林整備部長 唐澤 智（からさわ さとし）氏からは「広葉樹の活用状況と今後の可能性」を演題に、青森県森林組合連合会 参事 秋田 貢（あきた みつぎ）氏からは「続・広葉樹の有利採材等について」を演題に、お二方から講演いただいたところです。

講演では、国内の広葉樹資源はブナ・ナラを中心にかなり充実している状況や安定した供給が大事であることについてお話がありました。

また、広葉樹の用途（家具材、建具材、洋酒樽など）に応じた最適な太さと長さの丸太を作ることで、丸太の価値があがるといったお話もあったところです。

国有林ではスギ林等を中心に木材生産を行っていますが、同じ林内から広葉樹も一緒に出材されることがあります。そういった広葉樹からどのような丸太を作るかを丁寧に検討して、貴重な資源を有効に価値の高い丸太を市場に供給する取組を推進するうえで、今回のセミナーは貴重な学びの機会となりました。

## 【山間部の融雪が進んでいますが、入林の際にはご注意ください。】

入口だけ融雪が進んでいる様子。



進入先で残雪に行き当たる事も。



今年の冬は、暖冬のあおりで山間部の積雪も例年より少ない状況で、それに伴い融雪も例年より早い傾向が見られます。

春の味覚を求めて、林道を伝って入林するといった機会が出てくるかと思いますが、進入する際には注意が必要です。

一見して林道路面上の雪が消えていたから進入してみたら途中から雪が残っていた、という事が多い時期でもあります。

路面上は大丈夫でも車を転回させるスペースが無いといった事も十分想定されますし、路面上に転石や土砂の崩落、風雪による倒木もあつたりしますので、無理な進入は控えた方が無難です。

また、積雪の多い地域は雪崩が発生する恐れもありますので、付近の状況を良くご確認の上、山々の春の訪れを体感していただければと思います。

山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



国民の森林・国有林